

## **[Ⅲ 整備の進め方]**

## 6. 整備の進め方に関する方針

### ○重点整備の実施

- ・道路状況や事故の発生状況等を踏まえ、効果の早期発現が期待できる整備を重点的に実施します。具体的には、中心部の幹線道路において、効果が特に見込める場所に限って車道左側通行を周知・誘導する路面表示を整備します。

### ○モデル整備の実施

- ・パーキングチケット等の設置や幹線道路の一方通行など課題のある区間において、モデル整備及び効果検証を行うことにより、整備の確実な進捗を図ります。
- ・御堂筋については、歩行者交通量や自転車関連事故が多く、側道の歩行者空間化が検討されており、本市として自転車通行空間整備を優先的に進めていきます。

### ○道路整備等との連携

- ・道路の整備、改良、補修等に合わせて行うことにより、整備の効率的な進捗を図ります。

### ○PDCAサイクルの導入

- ・計画の進捗管理や効果検証等を 5年を目途に必要な応じて見直しを実施します。



本町通における先行整備  
(効果検証)の例



中心部幹線道路における  
路面表示整備の例



PDCAサイクルによる計画・施策・事業の進捗管理

## 7. 整備スケジュールイメージ

